

第5回 医療事故調査・支援センター主催研修について

1. 研修名 「医療事故調査制度」を活用した院内医療安全活動の実際
2. 目的 医療機関の再発防止への取り組みや課題等を共有し、組織としての医療安全体制の構築について考える機会とする。
3. 対象者 医療機関管理者及び医療安全担当者、及びそれに準ずる方
4. 日程
 - ・会場開催：令和6年10月26日（土）13：30～16：30
 於 品川 ザ・グランドホール
受講者数：84名
 - ・オンデマンド期間：令和7年2月25日（火）まで（終了）
受講者数：1,540名
5. 受講数 1,624人
6. 内容
 - 「開会挨拶」 門脇 孝（日本医療安全調査機構 理事長）
 - シンポジウム 「組織としての再発防止への取り組み」
 座長：山口 徹（日本医療安全調査機構 顧問）
 - （講演1）「医療事故の再発防止に向けた提言」に基づく当院でのプロジェクト活動
 講師：東邦大学医療センター大森病院 前村 俊満
 - （講演2）「医療安全活動の進め方～医療安全情報・提言の活用の在り方～」
 講師：医療法人五星会菊名記念病院 新村 美佐香
 - （講演3）「重症心身障害児者専門病院における医療事故2例への対応とその後の取り組みについて」
 講師：愛知県医療療育総合センター中央病院 門野 泉
 - （講演4）「原因究明と再発防止策～患者・家族とともに～」
 講師：NPO法人 架け橋 川田 綾子
 - 全体討論
 - 「閉会挨拶」 田原 克志（日本医療安全調査機構 専務理事）